

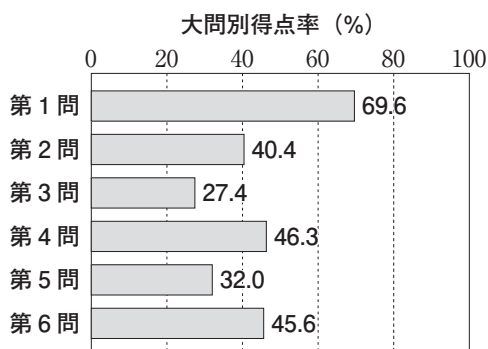
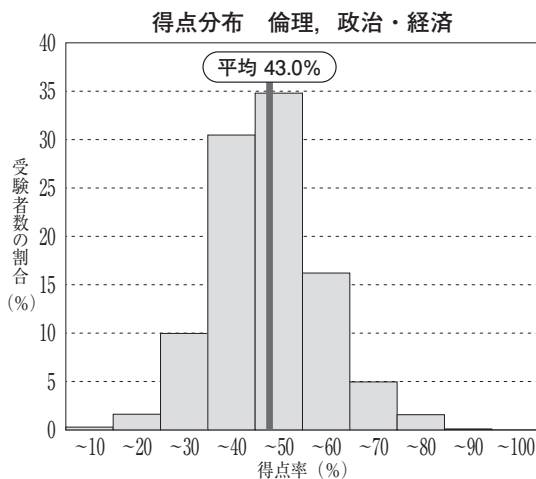
倫理, 政治・経済

まだまだ受験勉強は始まったばかり。一步一步でも、着実に学習を進めていこう。

I. 全体講評

今回の2017年度「第2回4月センター試験本番レベル模試 倫理, 政治・経済」の平均点は、43.0点であった。第1問は70%に近い得点率だったが、その他の大問はすべて50%未満の得点率だった。東進のセンター試験本番レベル模試は、12月の直前期まで毎回本番レベルで出題される。2月に実施した第1回の平均点が41.4点だったので、そこからやや上昇した結果となった。

とはいえ、現時点では、得点を気にしすぎる必要はない。一つ一つの設問についてよく復習し、自分の知識と理解を着実に積み上げていくことが大切である。



II. 大問別分析

第1問 青年期分野・現代社会分野

易しい問題が多かったため、高い得点率であった。

大問の得点率は69.6%であった。知識がなくても解ける問題や、グラフ・文章の読解問題が多かったため、当然の結果であろう。実際のセンター試験では読解問題も難しいものが多いので、気を緩めないようにしましょう。なお、社会主義思想について問われた問5 [5]の正答率は30%ほどであり、突出して低かった。

第2問 源流思想・日本思想分野

多くの設問で解答がばらけた。暗中模索の受験者が多い模様

大問の得点率は40.4%と、ふるわなかった。文章読解問題である問7 [12]を除くと、いずれの設問も解答がばらけた。学習の進んでいない受験者が多い状況がうかがえる。特に、近年頻出の吉田松陰が問われた問5 [10]では、正答率は20%台に留まった。

第3問 源流思想・西洋近現代思想分野

消去法の使えない出題形式の設問が多かったこともあり、極めて低い得点率であった。

大問の得点率は27.4%と全問で最も低く、正答率が50%を超えた設問は、文章読解問題ただ一問であった。こうした結果となった理由としては、設問形式の要素も考えられる。すなわち、通常の4択問題であれば消去法なども使えるが、複数の短文の正誤の組合せや正しいものの組合せを問う形式、サブリード文の三つの空欄の組合せを問う形式などの設問では、完璧な知識がないと正答できない。こうした近年の形式に慣れる必要もあろう。

第4問 戦後の日本経済

時期を考えればまずまずだが、理論についての理解が足りない。

大問としての得点率は46.3%と、政治・経済分野のなかではまずまずであった。ほとんどの設問で正答率は50%前後となっており、多くの受験者がそれなりに学習している状況がうかがえる。ただ、市場原理について問われた問8 [27]の正答率が24.0%と、意外に悪かった。知識よりも理解の不十分な受験者が多いのかもしれない。

第5問 国会, 内閣

基礎事項でも失点が目立つなど、ふるわなかった。

大問としての得点率は32.0%と、政治・経済分野では最も低かった。なかでも特に正答率の低かった設問の一つが問3 [30]で、国会と内閣の関係についての短文正誤組合せ問題であった。組合せ形式の設問はどうしても正答率が低くなるが、出題内容は極めて重要な基礎事項であったので、ぜひともしっかりと正答しておきたいところだった。

第6問 国際法

今年のセンター試験でも問われた内容に関わる設問の出来が悪かった。

大問としての得点率は45.6%であった。比較的出来の悪くない設問が多かったが、問4 [36]は3割ほどの受験者しか正答できなかった。この設問では日本が当事者となった調査捕鯨についての国際裁判が問われており、これは今年のセンター試験本試でも出題されている。せめて、今年のセンター試験はよく復習しておこう。

Ⅲ. 学習アドバイス**◆全分野の見取り図を手に入れよう。**

まだ模擬試験の結果に一喜一憂する必要のない時期であるが、根拠もなく楽天的であるのも問題である。「倫理, 政治・経済」という科目についてほとんど何も知らないという受験者は、少しでも早い段階で科目の全体像を自分なりにつかみ、今後の見通しをつかむようにしてもらいたい。

そのためには、前回のアドバイスの繰り返しになるが、まずは教科書あるいはそれに類するものを通

読しよう。すべてを理解しようとする必要はまったくないので、学ぶべき事柄をおよそ頭に入れるくらいのつもりで、とにかく最後まで読み通そう。

このように、まずは分からなくてもいいから最後まで読み通す。そして次には、用語集などを使いつつ精読してみよう。こうしたことを3回繰り返せば、確かな理解が身につくことだろう。

◆次回の模試に向けて。

まだ本格的な受験勉強はスタートしたばかりである。しかし、世界史Bや日本史Bの選択者は、この時期にすでにある程度の学習を済ませている。公民科目でこれと同じような状況にある受験生は極めて少ないだろう。しかも「倫理, 政治・経済」の場合には倫理と政治・経済の実質2科目をものにしなければならない。倫理と政治・経済の全分野を漏れ無く学習するという事は、想像以上に難しいものであることが、皆さんも次第に分かってくることだろう。焦る必要はないものの、センター試験までに得点力をつけられるよう、計画的に学習を進めていく必要がある。

そこで、いつまでにどの分野を学習し、いつから過去問演習を開始するかといった学習計画を立ててみよう。

もちろん実際の計画は、途中で修正する必要も出てくることだろう。しかし計画を立ててそれを修正するのと、計画なしになんとか勉強してなんとなく先延ばしにすることでまったく意味が違う。

完璧な計画である必要はない（そんなことは不可能である）ので、とにかく計画を立てて進めてみよう。